



八郷広報

発行所 八郷町役場 茨城県新治郡八郷町大字柿岡2009 電話(柿岡)4・104・114・149番

印刷所 飯島印刷所 石岡市守木町

戸数と人口

—10月1日現在—

世帯数 5,694

人口 男 15,655

女 16,456

計 32,111

第四回

十月十四日教育委員会、町公民館が主催して町の各種団体の代表者二百名が公民館に集まり、町の人がつねに生活する上での課題について、あらゆる立場から意見を述べ、町を良くするに必要とされていることを明らかにし、社会教育研究集会を行った。

社会教育研究集会ひらく

生活課題を究明

社会教育は、学校教育と並んで教育の大きな位置を占めている。しかし、学校教育とちがって、地域の人々が指導者となり、お互いに教育し合い、人格の完成と社会の改善に努めることを目的としている。

子ども会

一 会

子ども会は、学校教育の正常な発展を望むならば、その生活環境を整備する必要がある。その根本は家庭生活にある。「集団」として子ども会が育成強化に努力すべきである。ことに研究テーマを「子どもの生活環境の改善」とし、林の開設や、真家の優良子と子どもの内容を発表された。結局、部落に協力態勢がぜひ必要で、特に青年の方々の積極的な協力援助が望ましい。

青年団

三 会

青年団は、年々その会員がへっている傾向にあり、その理由などを話し合った。もう少し身近な問題を、青年団として、青年学校として取り上げて、各人がおの自覚し、全員参加出来るような方向に持って行くべきである。

公民館活動

四 会

現在の統合型公民館がよいのか、並列式各地区独立館がよいのか、という問題が提起された。また、中学校校舎の一部を統合が行われた後、部落公民館として、その一部を転用したいとか、公民館主事の増員を要望するとか、現在の公民館活動に大きなメスがかかる。

農休日

五 会

秋祭りの全町一本化については、各地域をそれぞれ統一した後に、全町統一したという一歩に一致した。ついで中心テーマとなった農休日の完全実施は、企業形態、産業構造の変革にともない、その実施には地域の実情に即した休日にするため、老夫婦、若夫婦の二段階式がよいとか、企業形態別がよいとか、異論続出したが、結局、月二回の第一・第三日曜日に実施するよう区長さんを通じ、また広報紙や有線放送などで、広報するとの結論を見出した。

種豚貸付け

36年度分目標80頭のうち35頭購入

ことしから町では、新しい農業の方向としての畜産、果樹の振興に力を入れ、そのうち畜産では種豚を重点としてとりあげ、肉豚年産二万頭をめざし、三ヶ年計画の種豚貸付け事業をはじめた。

基本選挙人名簿

三 会

基本選挙人名簿がことしも九月十五日現在で、選挙管理委員会の手でつくられ、この名簿は、ことしの十二月二十日に確定して今後、一年間に行なわれる各種選挙に使われる。自分の名前が登録されているか、どうか確かめてください。

集中豪雨の建設費

五 会

六月末の集中豪雨の際に被害を受けた河川、道路、橋、土庫施設のうち、国庫補助をうけて復旧される建設費の本査定が次のようにまとまった。これによって、八月に行なわれた町営公共土木施設緊急査定分の十二ヶ所七百三十三万六千円と、合わせて二十六ヶ所一千四百四十七万七千円となった。

七・五・三祝は

新暦11月15日に

公民館で申し合せ

町民健康保険税

第3期

31日限り

10月の納税

消防大会で表彰

5名と第35分団

茨城県消防大会が九月二十三日茨城県会館でひらかれた。席上、知事より二十年以上永年勤続消防団員として、小沢和一さん(班長・月岡)野村幸市さん(団員・土倉)岡野正さん(団員・土倉)の三名

公民館で申し合せ

婦人会

婦人会が、公民館と婦人会に毎年依頼していた七・五・三祝が、両者の協議の結果、本年度から新暦十一月十五日に各地区ごとに、合同して式をあげることにしました。関係者の方には特に協力くださるようお願いしています。なお、服装はなるべく学校に入学しても利用できるようなものを希望しております。

公民館で申し合せ

婦人会

婦人会が、公民館と婦人会に毎年依頼していた七・五・三祝が、両者の協議の結果、本年度から新暦十一月十五日に各地区ごとに、合同して式をあげることにしました。関係者の方には特に協力くださるようお願いしています。なお、服装はなるべく学校に入学しても利用できるようなものを希望しております。

農村労働力の確保と過剰労働力の調整

農業労働力調整協議会

滑川会長ら委員十二名で発足

町農業委員会振興部会、新しく発足する「農業労働力調整協議会」の規約を定めるため、部会を九月九日役場で開催「八郷町農業労働力調整協議会」の設置がめざされた。

農業問題の大きな課題である、農業労働力問題の解決にあたる機関として、今後の活躍が期待されます。

この機関は、全国の各市町村農業委員会内に設置されるもので、第一回の協議会は近日中に開催される予定です。

会長および委員は次のとおりです。

滑川 好道（農業委員会会長）

委員

鈴木 幸七（農業委員会振興部長）

富田 長次郎（農業委員会農地部長）

友部 三男（農業委員会農務部長）

岩本 佳之（秘書）

宮本 不二男（石岡安所長）

石井 精一（土浦職業訓練所長）

杉山 森一（教育長）

田上 嘉雄（柿岡中学校長）

須藤 善一（町商工会長）

桜井 正（経済課長）

渡辺 捷治（製材所長）

これら委員は、協議会の運営を通じて町の農業労働力の確保と過剰労働力の調整に努め、希望に応じて就業を促進するために問題を究明解決していくものです。

当面の検討課題は、①農業経営技術の低いこと、②労働力の差が大きいこと、③労働力の調整が困難な時期にそなえてある労働力をもつていなければならない状態にある。

一人当りの所得が低い点を考慮すれば余分な労働力をかけたといえるし、一方個々の農家を単位としてみた場合は必要な労働力である場合が多い。この面で労働力の合理化が問題になり、農業就業構造改善方針を検討する必要がある。

また、新規卒業者のうち、農業につくものはだんだん減っており、最近では二、三男だけではない長男までが農業を離れていく状態になってきている。

農業生産性の向上は経営の近代化といっても、つまりは農業経営を担う人材の確保が問題です。そこで、農村を青少年にとって魅力あるものになければなりません。

これら問題解決の資料を得るために「農村からの過剰労働力の調整」あるいは「農村にとどまる労働力の現状をいささかつかむこと」や「労働力の需要と、供給」



芦穂小 新築落成

大字小上山地内に百八十アールの敷地を求めて、早くからその完成が待たれていた芦穂小学校は、このほど工費六十万円で、図工室、理科室、普通教室五など百九十坪、木造モルタル一棟が、細谷建設株式会社の請負施工によって落成した。写真は第一期工事が完成した芦穂小学校

茨城県ハイキング大会 東筑波でひらく

オ六回を迎える「茨城県ハイキング大会」は、県の山岳連盟が主催して毎年行なうもので、今年は、県体育協会、八郷町、町教育委員会、町体育協会、東筑波観光協会が名を連ねて後援となった。

これは町体育協会山岳部の働きかけで、活躍が認められて、この八月加波山から筑波山にかけて行なわれた国体登山県予選につづいて行なわれるもので、区間を七月から宮林署が工事

東筑波林道ほぼ完成

湯袋峠 三・六キロが開通

東筑波林道の湯袋峠〜風返峠間は、中間点の八百メートル（市三・六メートル）の全行程が開通した。早くも「きのこ狩り」やハイキングなどに利用されている。

国保 よくなる国保の給付率 結核・精神病に七割給付

国民健康保険法の一部が改正され、十月一日からは世帯主の結核や精神障害、またはこれによって発した疾病、負傷でかかったときの一部負担金（被保険者が医療者の窓口で支払う金）の割合が十分の五から十分の三に引き下げられます。

衛生 冬ももりするハエ退治 秋の大掃除11月5日〜15日

蚊やハエは、いったい冬はどうしているのでしょうか。蚊やハエの駆除に精を出しているうちに、秋も深まり、涼風とともに、いつしか忘れがちなハエ、ゴキブリなど衛生害虫の秋の駆除は効果が大きいばかりでなく、来春の発生を防ぐ意味から、軒下や畜舎の天井など、暖か

30年前所得倍増めざし 柿栽培はじめる 真本多柿園

産業訪問(2)

今月は、味覚の秋のおとずれで、活気を呈してきた八郷町の特産「園部の富有柿」の産地、園部真家の「本多柿園」を訪問してみた。

訪問したのは十月十一日の午後、本園柿園の本園主、本多柿園の柿栽培はじめる。真本多柿園



ことしも豊作 本多さんの柿

一日の午後、本園柿園の本園主、本多柿園の柿栽培はじめる。真本多柿園



バレー県体で準優勝

十月一日、茨城県体育大会が、水戸県営グラウンドでひらかれ、八郷町女子青年団バレーチームが新治郡代表として出場、優勝候補日立チームをくぐり、決勝戦に進出、準優勝した。

新治郡2 0 結城市
新治郡2 1 那珂郡
新治郡2 0 日立市
新治郡2 1 勝田市

台風被害者に見舞品

第二室戸台風の被害者見舞品として、衣類数点が大字上林、額賀ちかさんから、また数名の篤志者より衣類二十点と日用品などが寄せられ、社会課を通じて現地に送付された。

(文)(芸)

短歌

川又 前島 夢人
秋の来てわれの生くるに
きびし世を顧み思ふ
五つとせを病みて

柿岡 舟橋 対峯
筑波鎮を敵う雨雲遠く
見つわれは脱殻を
いそぎていたり

俳句

柿岡 舟橋 対峯
厚い雪を頂戴して
五たび生きてうれし
老いの幸

俳句
柿岡 舟橋 対峯
巴の店屋を閉して
稲を刈る

名月

名月にさそはれて来し
草の原
月浴びつゝ無心に笛を
吹きならし

柿岡 舟橋 対峯
色鳥や枯れ残りたる
枝 美し

五会

五会 増子 海哉
八郷地区長寿会日光・塩原
へ親善旅行

岩風呂へ老の足音
爽やかに

冷ややかな眼色財布

冷ややかな眼色財布
落せしと

中戸 美銀 牛歩
秋季研修旅行 熱海箱根
湖の辺に魚すい／＼と
尾 花 盛